

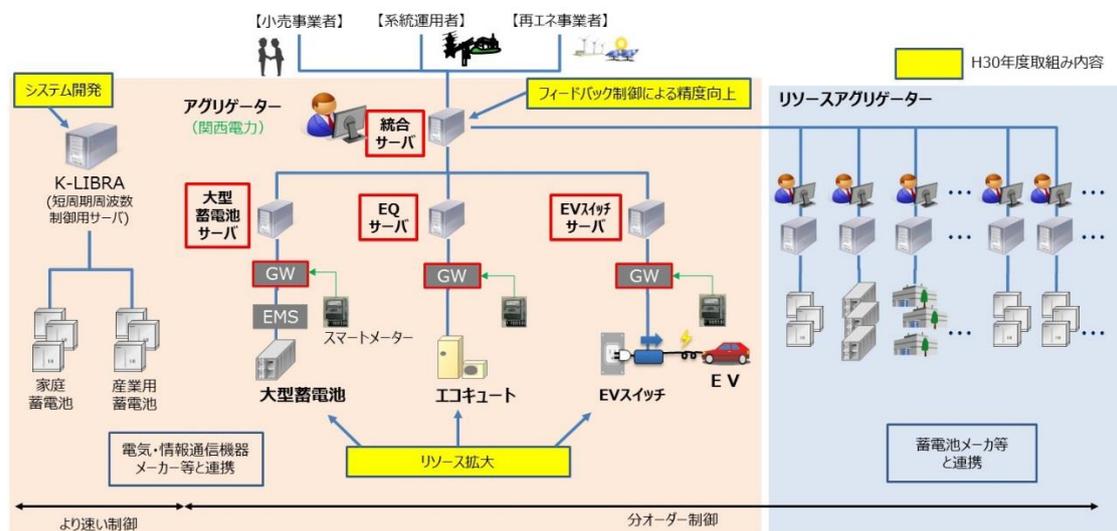
バーチャルパワープラント構築実証事業の概要

1. これまでの実証内容と結果

アグリゲーターの指令からリソース応答までの時間が分単位の制御（以下、分オーダー制御）では、アグリゲーター自らがエネルギーリソース（大型蓄電池、電気自動車、エコキュート等）を制御するためのシステムを開発するとともに、リソースアグリゲーターのサーバを連携させ、幅広いエネルギーリソースを制御できるシステムを開発し、実フィールドでの実証を実施しました。

また、リソース応答までの時間がより速い制御では、数万台規模の家庭用蓄電池を群制御し、周波数調整を行う蓄電池群監視制御システムの仕様を検討しました。

<システム構成のイメージ図>



2. 平成30年度の実証内容

これまでの取組みを踏まえ、リソース制御までの反応時間に応じて取組みを進めるとともに、バーチャルパワープラントのビジネス化実現に向けて検討を行います。

<具体的取組みの例>

- ・分オーダー制御については、制御する電気自動車を、昨年度の60台規模から100台規模にするなど、各リソースの拡大を図ってまいります。また制御面では、各サーバにおいてフィードバック制御を行なうなど精度の向上を図り、より高度な実証を行います。
- ・リソース応答までの時間がより速い制御については、昨年度検討した仕様に基づき、蓄電池群監視制御システムの開発および動作検証を行います。

3. 実施場所

関西エリアを中心とした企業内設備及びお客さま設備

4. 実施期間

平成30年5月29日（補助金交付決定通知日）～平成31年2月28日